

報告書抄録

ふりがな	ふくいじょうあと							
書名	福井城跡							
副書名	北陸新幹線建設事業に伴う調査6							
巻次	第一分冊遺構編・第二分冊遺物編							
シリーズ名	福井県埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第177集							
著者名	御謀貞義(編) 木村孝一郎(編) 青木隆佳 秋山綾子 佐々木芽衣 杉田曜 九千房百合 中原義史							
編集機関	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒918-8226 福井県福井市大畑町 97-21-3 TEL: 0776-53-7977 E-mail: maibun-c@pref.fukui.lg.jp							
発行年月日	西暦 2022年3月14日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡 番号					
ふくいじょうあと 福井城跡	ふくいけん 福井県 福井市 豊島1丁目	18201	01141	36° 3' 29"	136° 13' 14"	20150401 ～1130 20160401 ～1228	3,070㎡ (表面積)	記録保存 調査
所収遺跡名	種別	主な 時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
福井城跡	城郭 城下町	中世 近世  古墳時代 奈良・平安時代	道路、屋敷境溝、井 戸、廃棄土坑など  自然河川、溝、土坑 など	土器(土師質皿)・陶 磁器・瓦・木製品(下 駄・漆器)・石製品(行 火・石瓦)・金属製 品(刀装具・煙管)・ 自然遺物(種子・骨) など  須恵器・土師器・ 鉾澤など	外曲輪の城ノ橋地区 に区画された5つの 街区(屋敷地)にま たがり、城郭内では 珍しい町屋の建ち並 ぶ部分を検出した。 このうちE街区は江 戸時代を通して町屋 だった街区である。			
要約	北陸新幹線建設事業に伴う調査のうち、地方主要道福井加賀線の起点部分である「城の橋通り」から南側の足羽川までの範囲である。調査区は、福井城の外曲輪のうち南東部の「城ノ橋」地区にあたる。大部分が武家屋敷地で、道路・石組水路などの街区に関わる遺構や、屋敷境溝・井戸・廃棄土坑などの屋敷地に関わる遺構が検出された。また、下層から古代(奈良・平安時代)の遺構・遺物が検出されており、古代の包含層からは炭化物や焼土とともに鉾澤なども検出された。							



---

福井県埋蔵文化財調査報告 第177集

## 福井城跡

—北陸新幹線建設事業に伴う調査6—

第1分冊 遺構編

令和4年3月4日 印刷

令和4年3月14日 発行

発行 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒918-8226 福井市大畑町97-21-3

印刷 創文堂印刷株式会社

〒918-8231 福井市問屋町1丁目7番地

---

